

# 国立大学法人東京科学大学 (所在地: 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1)

**事業名** 重度重複障害者が同世代 (大学生) と交流し共に講義を受ける『オープンハートキャンパス』

## 事業の趣旨・目的

重度重複障害のある若年層の「大学で学びたい」というニーズに応え、大学キャンパスにおける学習および同世代との交流機会を創出する「オープンハートキャンパス」を実施する。大学の人的・物的資源を活用してオープンハートキャンパスを実施しながら、オープンハートキャンパスを継続的な生涯学習プログラムとして定着させるための基盤整備を行う。  
本取組を通して、障害の有無にかかわらず共に学ぶ環境を広げ、多様性を前提とした社会の実現に寄与することを目指す。

## 事業実施体制・連携先

東京科学大学小児・家族発達看護学分野を実施主体とし、大学を拠点として実施する。学生団体aileが「オープンハートキャンパス@東京科学大学」の運営に関与し、大学と学生が協働する体制を構築する。医療・教育・福祉分野の専門職、行政機関、当事者団体等と連携協議会を設置する。

## 主な対象

すべて/視覚/精神/知的/発達/肢体/内部障害/難病等(重度重複/その他( ))

## 活動分野

学習/文化芸術/スポーツ/情報保障(普及啓発/その他( ))

## 事業内容

### ・「オープンハートキャンパス@東京科学大学」の実施

東京科学大学のキャンパスを活用し、高校卒業後の重度重複障害のある若年層と大学生が「同級生」として共に学ぶ大学体験型生涯学習プログラムを実施する。学生団体aileの協力のもと、学生が運営および講師を担い、得意分野や関心に基づいたテーマで講義を企画する。講義は演習や体験を取り入れ、少人数グループで同一テーブルを囲みながら受講する形式とし、学習過程そのものを通じた交流を促す。  
本プログラムは年3回実施する。

### ・実践データの収集・分析による実践研究の実施

オープンハートキャンパスの実施時には、参加者属性、参加状況、満足度、当事者保護者および大学生の意識変化等に関するデータを収集し、効果を評価する。さらに、移行期における学びの意義や課題について明らかにするために、大学生に対するアンケート調査と、参加者保護者へのアンケート・インタビュー調査を行う。質的・量的データを整理・分析・統合し、オープンハートキャンパスの定着・拡大に役立つエビデンスを得る。

### ・研究成果の発信・普及

オープンハートキャンパスの活動・効果や、実践研究の成果について、学会等で広報するとともに発表する。また、行政関係者や他大学、地域関係者を対象とした成果共有の機会を設け、大学キャンパスを活用した生涯学習モデルの有効性や実践方法について情報発信を行う。

### ・成果報告会の開催

本事業に直接的な関心を有していない大学構成員や一般市民も対象とした公開報告会を行い、事業概要および具体的実践とその効果について広報する。

## 事業終了後の目指す方向性

活動しながら実践知・データを得て、障害者の移行期における大学体験型生涯学習モデルを整理・可視化し、他大学・他地域で展開可能なモデルとして発信することを目指す。  
将来的には、医療・教育・福祉・高等教育機関が連携する持続可能な実施体制を構築し、大学が地域に開かれた学びの拠点として、重度障害者の学習機会を継続的に保障する仕組みづくりにつなげる。また、学生主体の運営を継続することで、共生社会の担い手育成と社会的意識変容の両立を図り、持続可能な取り組みとして発展させることを目指す。

## その他

小児家族発達看護学分野HP : <https://www.cfn-isct.org/>  
東京科学大大学ニュース記事 : <https://www.isct.ac.jp/ja/news/2szw5fiha8co>  
文部科学省「共生社会マナビ」障害者の生涯学習推進ポータルサイトでの紹介記事 : <https://kyouseisyakainomanabi.mext.go.jp/article/article03/>  
学生団体aile HP : <https://aile-15.jimdofree.com/>